

倉敷中央病院を受診の皆様へ  
「Rapid Response System(RRS) データレジストリーに関する  
多機関共同研究」について

(1) 研究の目的

当院では、院内での病状悪化を早期発見し治療するために Rapid Response System（院内迅速対応システム）を導入しています。当院に入院中の患者さんが急変した症例のデータを多施設で収集し、上記の研究を行っております。この研究は、入院中の患者さんが急変した際の臨床兆候等について明らかにすることを目的とし、皆様の今後の治療にも役立つことができると考えています。

(2) 研究対象について

承認日～2028年7月31日に当院に入院された方のデータを使用いたします。

観察項目：

患者基本情報：年齢、性別、入院日、主病名、担当科、併存疾患、小児患者のみ身長・体重および先天性心疾患の有無、入院時脳機能

RRS 起動前患者情報：バイタルサイン（体温、血圧、心拍数、呼吸数、意識状態）、酸素投与の有無、集中治療室滞在の有無、処置時の鎮静・麻酔の有無、手術の有無および手術情報、コードステータス

転帰：RRS 後 24 時間および 1 ヶ月後転帰、入院転帰、退院日および退院先、退院時脳機能

RRS 起動時情報：起動者、起動場所、起動日時、到着時刻、終了時刻、起動理由および悪化原因

RRS 起動時患者情報：バイタルサイン、治療介入、転帰

尚、本調査は純粋な調査研究であり、患者さんやご家族の方にいかなる利益・不利益が生じることはありません。

(3) 個人情報の保護について

この研究では個人を特定できるような情報は一切登録されませんが、登録情報は外部に漏洩することがないように慎重に取り扱われます。なお、この研究では、海外を含めた他組織の研究者に個人が特定できないように加工された研究データを二次利用の形で提供する場合もありますが、その場合も情報は同様に適正に取り扱われます。

(4) 利益相反について

本研究は日本集中治療医学会、日本臨床救急医学会より事務局運営資金の支援を受けて実施しています。両学会は研究結果および解析に関与しません。またレジストリーの運営は関連学会からなる日本院内救急検討委員会（In-Hospital Emergency Committee in

Japan)により運営されています。その他、本研究の計画・実施において、研究結果及び結果の解釈に影響を及ぼす利益相反はありません。

(5) 研究結果の公表について

研究結果は、医学研究雑誌や学会等で発表される予定です。また我が国の院内救急体制の充実のために定期的にレポートとして公表されます。その場合も、個人を特定できる情報は一切含まれませんのでご安心下さい。

**※この研究の対象になられる方で、「ご自身のデータを除外してほしい」と望まれる方は、Rapid Response System が必要になった日から3ヶ月以内に下記問い合わせ先までご連絡下さい。ご自身が研究の対象になるかご不明な場合は下記問い合わせ先までご連絡下さい。**お申し出のあった患者さんの情報は削除し、研究データとして使用することはありません。なお、お申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

**研究代表機関**

聖マリアンナ医科大学病院 救命救急センター  
住 所：〒216-8511 川崎市宮前区菅生 2-16-1  
電 話：044-977-8111 (代表)  
研究代表者：藤谷 茂樹 (PHS 81080)

**参加施設・責任者**

別紙の資料 (参加施設リスト) をご覧下さい。

**問い合わせ先**

倉敷中央病院 集中治療科  
住 所：〒710-8602 岡山県倉敷市美和 1-1-1  
電 話：086-422-0210  
担当医師：大竹 孝尚